

## (1) 平成28年度事業報告について

## ○ 動物愛護教室

動物愛護思想及び動物の適正飼養の普及啓発を図るには、次代を担う子供たちに対する教育が不可欠であることから「動物の愛護及び管理に関する法律」及び「岐阜県動物の愛護及び管理に関する条例（所有者等の義務及び遵守事項）」に基づき、小学生を対象として動物についての理解、生命を慈しむ心の育成、動物愛護意識の高揚及び動物による危害の防止を目的とした動物愛護教室を開催する。

平成28年度は、各保健所で9回実施した。

## 動物愛護教室開催状況

回数等／年度	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
開催回数	8	10	8	11	9
受講人数	646	431	235	519	442

## 【平成28年度実施報告】

岐阜保健所及び本巣山県センター（各務原市立鷺沼第二小学校4年生）

- 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員）
  - ・「保健所に来る犬猫たち」と題して保健所の業務、狂犬病、犬猫の収容について講義。
  - ・「犬の接し方」について帯同した犬をモデルに触り方の講義と実演。
  - ・犬が嫌がらない触り方や犬などを講習後、参加者全員に犬に触れ合う機会を設けた。
- 保健所担当者の所感
  - ・保健所の業務等の講義を聞き、児童は飼うには責任が伴うことを理解できていた。
  - ・人数が多かったためクラスごとの開催になり一回の講義時間が短くなったため、時間配分に苦慮した。

西濃保健所及び揖斐センター（揖斐川町立大和小学校3年生）

- 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員）
  - ・ウサギの飼い方やふれ合い方について講義。
  - ・小学校で飼育しているウサギの健康状態を観察。
  - ・動物愛護啓発資料（環境省パンフレット）を配布。
- 保健所担当者の所感
  - ・普段飼育しているうさぎを中心に、講師が理解しやすいように説明したため、興味深く聞いていた。
  - ・今後、学校飼育動物以外にも範囲を広げ、児童がより興味を示す内容としていきたい。

関保健所（関市立富野小学校4年生）

- 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員、保健所、動物愛護センター）
  - ・県の狂犬病予防及び動物愛護管理用務及び動物愛護センターについて講義。また、動物に触れた後の正しい手洗いについて講義（手洗いチェッカーによる実演を実施）。
  - ・ウサギの生態、特徴、正しい飼育方法について講義。
  - ・犬との正しい触れあい方について動物愛護推進員による講義。
- 保健所担当者の所感
  - ・正しい手洗いについて実演を含めて実施したため、児童に好評であったと思われる。

#### 郡上センター（郡上市立大和南小学校4年生）

- 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員、保健所、動物愛護センター）
  - ・保健所の動物愛護管理業務について講義。
  - ・動物愛護推進員による動物介在活動について講義。
  - ・獣医師と動物愛護推進員のもと、3匹の犬と児童による犬とのふれあいの実施。
- 保健所担当者の所感
  - ・講師（推進員）は、獣医師としての経験やJ A H Aのパピーケアスタッフ養成講座の受講、しつけ教室の講師経験があり、児童にわかりやすい講義であった。
  - ・児童からはペットを最後まで世話したいなどの感想があった。

#### 可茂保健所（美濃加茂市立西中学校1年生、美濃加茂市立古井小学校4年生）

- 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員、保健所）
  - ・保健所の狂犬病及び動物愛護管理業務について講義。
  - ・動物介在活動の講義と実演。
- 保健所担当者の所感
  - ・講義では、講師が生徒に質問を投げかけながら進めることで、生徒が自ら考える意識を持つことができていた。
  - ・生徒は動物介在活動犬による実演を見て大変感心した様子であった。

#### 東濃保健所（多治見市立小泉小学童保育所）

- 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員、保健所、動物愛護センター）
  - ・犬や猫の生態や食物連鎖について講義。
  - ・犬、猫、うさぎとのふれあいを実施。
  - ・ふれあいでは昨年度は犬のみであったが、今年度は猫とうさぎを加えた。動物へのストレスを考慮し、猫とうさぎについてはケージ越しのふれあいとした。
- 保健所担当者の所感
  - ・聴診器による心音を聞くことについて、児童全員興味を持って取り組んでいた。

#### 恵那保健所（中津川市立神坂小学校3年生）

- 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員、保健所）
  - ・生き物の命についての講義。
  - ・うさぎの心音を心音計で聞き、人とうさぎの心音の違いについて説明、うさぎの管理方法等について講義。
- 保健所担当者の所感
  - ・うさぎの管理方法を学んだ後にふれあいを行ったことから、学んだことを実践できていた。
  - ・当該小学校ではうさぎを飼育しておらず、うさぎと触れ合う貴重な機会となったと思われる。

#### 飛騨保健所及び下呂センター（高山市立新宮小学校1年生）

- 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員、保健所）
  - ・動物愛護に関する講義。
  - ・警察犬によるデモンストレーション。
  - ・犬とのふれあい及び心音の聴取。
- 保健所担当者の所感
  - ・児童からは犬とのふれあいや心音の聴取が印象深かったとの感想があった。
  - ・体育館での実施となったが、床がすべってしまい、デモンストレーション中犬が落ち着かない様子が見られた。

## ○ 愛犬のしつけ方教室

近年のペットブームを背景に犬及び猫をはじめとして動物を飼養する家庭が増加し、不適正な飼養による犬及び猫に関する保健所へ寄せられる苦情は多く、保健所に収容される犬及び猫は県下で年間約2,800頭(平成27年度)に上っている。また、災害時にはペットを連れて避難する飼い主が多いと予想され、人の生命、身体、若しくは財産に害を加えないよう日常からしつけを行うことは重要なことである。

このため、基本的な犬の「しつけ方法」等を広く県民に普及し、犬の適正飼養の推進を図る。

平成28年度は各保健所で8回実施した。

### 愛犬のしつけ方教室

回数等／年度	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
開催回数	1 0	8	1 0	9	8
受講人数	2 1 9	2 2 0	3 9 6	2 5 2	1 7 9

#### 【平成28年度実施報告】

##### 岐阜保健所及び本巣山県センター（岐阜県健康科学センター中庭）

- 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員、保健所）
  - ・各市町と管内在住の岐阜県動物愛護推進員に開催する旨のチラシの配布を依頼して参加者を募集した。
  - ・「上手に散歩する（副題）」と題し、犬に関わる法律と動物愛護の観点から必要なしつけについて基本となる考え方や、社会におけるモラルの説明と災害における緊急避難による対応などについて講義。
- 保健所担当者の所感
  - ・年1回の開催ではしつけの継続や飼い主のスキルアップに貢献できないと考え、今回は「散歩」にテーマを絞り実施したことで、講師も個別に指導ができてそれぞれのスキルアップにつながったと感じた。
  - ・「犬のしつけの都合」、「飼い主のスキル」がバラバラであるが、ボランティアの方に個別に受講者についてもらうことで保健所外周歩道を散歩する実地訓練を実施することができた。
  - ・しつけ方法の実践により、犬の変化が確認でき参加者の自信につながっていた。

##### 西濃保健所及び揖斐センター（西濃総合庁舎駐車場）

- 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員、保健所）
  - ・地域の広報により開催の周知を行い、申込みは先着順とした。
  - ・犬の登録や年1回の狂犬病予防注射を受けること、終生飼養などの飼い主の責務について、災害対策について（持ち出すものリスト、身元証明の方法、ケージに慣れさせること、しつけ）講義。
  - ・講師による愛犬との正しい関係性、コミュニケーションの取り方、待て、伏せなどの初歩の服従訓練や散歩の仕方等をモデル犬で実演しながら、飼い主に実技指導を行った。
  - ・最後に相談時間をとり、個別に対処法などのアドバイスをした。
- 保健所担当者の所感
  - ・申し込み初日の早い段階で定員となったため、今後は抽選により参加者を決めることも必要と思われる。
  - ・飼い主がそれぞれ困っている内容は異なるので、個別の相談時間をもっと多くしてほしいとの要望があった。

##### 関保健所及び郡上センター（関市役所南広場）

- 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員、動物愛護センター、保健所）
  - ・講義及び基本訓練について実施。
  - ・飼い犬同士が接触しないよう、常時6名の職員で監視を行った。

● 保健所担当者の所感

- ・当日は天候が悪く、実技訓練を満足に行うことができなかったため、雨天時の開催方法を考慮していく必要がある。

可茂保健所（可茂総合庁舎）

● 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員、保健所）

- ・市町村の広報に掲載し、参加者を募集した。
- ・狂犬病予防法等に基づく犬の適正飼育について講義。
- ・しつけ（災害時にも役立つしつけ）について講義、実演。

● 保健所担当者の所感

- ・事前に、参加者にしつけに関する悩み相談事を聞き取り、講義、実技に盛り込むことで参加者は熱心にメモを取っていた。
- ・サブテーマは災害時にも役立つしつけとしたため、参加者に災害時の心構え等を啓発できた。

東濃保健所（東濃西部総合庁舎）

● 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員、保健所）

- ・保健所職員による「被災時の飼い主の対応について」講義。
- ・講師による基本的なしつけ方の講義。
- ・野外で実演の実施。
- ・それぞれの飼い主が抱える悩みに対し、アドバイスの実施。

● 保健所担当者の所感

- ・昨年度に比べ、参加者が多く、犬同士のトラブルが発生しないように気を配る必要があった。
- ・災害時に使用する動物収容用テントを張り、参加者に災害時の備えについて啓発することができた。

恵那保健所（東美濃ふれあいセンター、恵那総合庁舎）

● 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員、保健所）

- ・中津川健康福祉まつり会場及び恵那総合庁舎で実施。
- ・しつけ方相談の実施。

● 保健所担当者の所感

- ・中津川健康福祉まつり会場での相談は1件にとどまったが、じっくりと相談に乗ることができた。
- ・恵那総合庁舎でのしつけ方相談では複数の方への相談に乗ることができた。

飛騨保健所（高山市役所）

● 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員、保健所）

- ・高山市市民健康まつりに実行委員として参加。
- ・基本的なしつけ方をデモ犬や犬を連れた飼い主と実演。
- ・猫の室内飼育の啓発も併せて実施。
- ・ペット防災対策の啓発も実施。

● 保健所担当者の所感

- ・しつけ方教室については犬猫を連れた方が4組程度と少なかったが、個別の質問に回答できたため、参加者からは大変満足したという声が聞かれた。
- ・「犬のしつけ方教室」の周知を高山市の広報に任せていたため、参加者増加のためには保健所からも積極的に周知する必要がある。

#### 下呂センター（水産研究所下呂支所）

- 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員、保健所）
  - ・水産研究所のイベントに合わせて「愛犬のしつけ方教室」を実施。
  - ・参加者の犬を用いて問題行動への対処方法について指導。
- 保健所担当者の所感
  - ・参加者の具体的なしつけに関する相談について個別に対応するため、事案によってはどうしても時間がかかる。
  - ・しつけのトレーニングが災害時の備えになるとの説明に参加者は関心を示していた。

#### ○ 動物愛護推進員活動支援事業

県が推進員活動の環境を整備し、その活動を支援することにより、県民に対する動物の愛護及び適正飼養等の普及啓発を図る目的で、各保健所及びセンター管内の推進員活動の支援を実施した。

##### 【平成28年度実施報告】

- ・学校等で動物とのふれあいを含めた動物愛護教室
- ・保健所に収容された犬猫の新たな飼い主を見つけるために譲渡希望者情報の仲介
- ・保健所から譲渡された犬猫の健康診断
- ・犬のしつけ方教室等の実施

## ○ 岐阜県被災動物救援ボランティアリーダーの育成

災害時に動物救護活動を円滑に行うためには、ボランティアや動物愛護団体の協力が不可欠であり、個々のボランティア等の力を十分に発揮するためには防災知識及び動物愛護に関する知識を有するリーダーが必要となる。このため、災害時にリーダーとして活動する岐阜県被災動物救援ボランティアリーダーを養成し、登録している。(任期2年)

平成28年度は新規登録者の養成と平成26年度登録者の再登録の意思確認を行った。

岐阜県被災動物救援ボランティアリーダーとは

### 1 活動内容

#### (1) 平常時

- ・ペットの災害対策に関する飼い主等への普及啓発

#### (2) 災害時

- ・動物救護ボランティアの受付
- ・避難所や動物収容施設等へのボランティア派遣の割り振り
- ・避難所や動物収容施設等での飼養相談受付、飼養管理方法の指導及び技術支援
- ・その他、岐阜県被災動物救援本部が必要と認めたもの

### 2 登録資格

岐阜県が実施する被災動物救援ボランティアリーダー養成講習会を3回以上受講し、登録しようとする時点で20歳以上であること。

## 養成講習会開催状況

	演題	内容	講師	参加者数
第1回	災害とボランティア活動について	災害とボランティア活動について総合的な知識を学ぶ	防災士 西田 重成 氏	19
第2回	災害時の救援活動における対応について	災害時の状況や課題、対応方法などを学ぶ	動物保護団体 「動物いのちの会いわて」 下机 都美子 氏	24
第3回	岩手県の被災動物救護対策の取組みと今後の課題について	被災現場での取り組みや、対応方法などを学ぶ	岩手県環境生活部 県民くらしの安全課 佐藤 恵子 氏	20
第4回	避難所初動訓練等	グループワークを通じて、リーダーの役割について学ぶ	動物愛護センター	22

## 地域別被災動物救援ボランティアリーダー登録者数

地域	平成28年度 新規登録者	再登録者 (全員更新)	合計
岐阜	3	5	8
西濃	2	2	4
中濃	4	8	12
東濃	0	3	3
飛騨	6	2	8
合計	15	20	35